

## NEWS LETTER

### ★ゲストティーチャーの出前授業★

3年けやき「多摩川学習」



**秋の出前授業、地域学校協働本部が実施しました。**  
調布市のガイドラインが変更され、コロナ禍の学校教育活動で、校外学習と体育館での学年集会が、二学期は可能になりました。運動会や学芸会が中止となり、教室で勉強するだけの一年になってしまわないように、三小の先生方は、工夫をされています。学校をサポートし、多様な学びの機会を児童に提供することも、協働本部の大きな役割。十月は、3年生と4年生で、ゲストティーチャーの出前授業を実施しました。

10月15日(木)多摩川  
講師：山崎愛柚香さん  
(おさかなポスト)

河川敷に着くと、ライフジャケットの着用や多摩川での約束事など、水辺の安全教室からスタート。その後は、石や生き物、植物について、実物に触れながら学習しました。元博物館学芸員の山崎さんは、まるで生物博士。見つけた石や生き物について、たくさん教わりました。久しぶりの校外学習で子どもたちは本当に楽しそうでした。捕った魚は、学校の水槽で飼っています。

子どもたちの生き生きとした姿から、体験的な学びはやっぱり大事な、と改めて感じました。(3年三好先生)

### 協働本部ボランティア活動



週1～2回、地域ボランティアが、校内の水道蛇口などの消毒作業を行ってくれます。「子どもが三小の卒業生で、お世話になったので何かお手伝いをしたい」と問い合わせしてくれたボランティアさんもいます。

放課後の先生たちの負担が減り、とても助かっています。いつもありがとうございます！  
(黒木副校長先生)

4年けやき「車椅子ダンサー・かんばらけんたさん講演」



かんばらけんたさんは調布在住の車椅子ダンサーです。システムエンジニアとして働きながら、車椅子ダンサーとして舞台やテレビCMなどに出演しています。2016年リオパラリンピック閉会式で、7万人の観衆の前にダンスを披露しました。私生活では二児のお父さんです。

10月13日、かんばらさんは、車椅子の上で逆立ちするなどアクロバティックに、しなやかでかっこいいダンスを4年生に披露してくれました。子どもたちは、初めて見る美しい車椅子ダンスの世界にグッと引き込まれました。「小学生の頃はみんなと違って恥ずかしいと思った車椅子で、今は自分にしかできないダンスを踊っている。みんな、人と違っていても構わない。だから面白い！」と話されました。

質問攻めにあつたかんばらさんでしたが、「差別体験は？」との問いに、「幸せじゃないと勝手に思われること、普段の生活を悲しそうだと思われること、これは無意識の差別だと思う。僕は好きなダンスを踊って、家族と幸せに生きている」と答えたことが印象的でした。

子どもも大人も「自分を認め、違いを認め、共に生きる」、これは共生社会において大切な考え方です。公演後、かんばらさんと子どもたちの間に、壁はありませんでした。(@kenta.kambara)

### ～三小地域学校協働本部からお知らせ～

学校では、日々、コロナ感染予防対策を徹底しながら、教育活動を行っています。感染防止のための約束事や対応にも慣れましたが、感染が拡大する中、心配は尽きません。特に、つまづきや不安を抱える児童に寄り添える学習支援員さんのサポートがもっと必要です。授業補助に入り先生をサポートする学習支援員を探しています。

★  
教員を目指す学生・三小の卒業生(大学生)などぜひご紹介ください！  
学習支援員は、謝礼あり・週1日～ です。

問い合わせ・ご応募はこちらまで。  
地域学校協働本部コーディネーター塚松美穂  
✉ chofu-3sho-gakosien@chofu-schools.jp

